

令和 4 年度 墨田区立言問小学校 経営報告書

令和 5 年 2 月 9 日

学 校 目 標	① よく考え、進んで行き最後まで「やりぬく子」を育てる。 ② なかよく協力する「明るい子」を育てる。 ③ 体をきたえ、心の「ゆたかな子」を育てる。
目指す学校像	児童が、変化の激しい時代を心豊かに生きていくための素養を育てることを言問小学校の教育指針として指導に当たる。 「言問小のすべての児童が、自分の将来に夢や希望をもてる学校」
目指す子供像	人間尊重の精神を基盤にして、心身共に健康な知・情・意・体のバランスのとれた児童
目指す教師像	・児童をしっかり見守り、児童を認め、励まし、寄り添いながら育成に努める教師 ・日々己の研鑽に努め、専門性を高める努力を惜しまない教師 ・「全ては子ども達のために」教育に情熱をもって取り組み、児童、保護者、地域の信頼に応えられる教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一単位時間の始まりに、必ず学習のめあてを提示し、学習することを理解させてから学習に取り組ませる。終わりをまとめの時間とし、記述させることで理解を確実にさせる。練習問題や振り返りを通して、児童の理解度の把握に努める。これらを通して、授業改善をさらに継続する。 ・授業に「考える」「書いて整理する」「発表する」活動を各教科の授業の中に定着させる。 ・タブレット端末や I C T 機器を積極的に活用し、児童の興味・関心、理解度を高める手立てを継続する。 ・高学年「英語」授業を工夫・改善する。 	B	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会による個別指導計画の作成・実施・評価・改善を継続して行う。 ・特別支援教育について教職員や保護者の理解を一層高めることに努める。 	A	A
	学校は、社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や外部人材等を活用し意図的・計画的な教育活動を計画的に推進する。 ・幼保小中一貫教育の推進に向けて、地域の子どもは地域の幼保小中の教員が協力して看取っていく体制作りを努める。 ・異校種との交流活動を行い、児童が生き方や将来を考える機会を年間計画に位置づけ、推進する。 	B	A
	学校は、教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「確かな国語の力を育てる指導法の工夫～説明的な文章の読解指導を通して～」に向けて、授業研究を中心とした研究を次年度も継続する。 ・新学習指導要領の趣旨が生きる授業づくりのため、全教員に都区の教科研究会への参加を促す。 ・指導教諭の模範授業を活用した校内研修会を計画的に実施する。 	B	A

様式 4

	学校関係者評価委員会の意見等	良好
--	----------------	----

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行っているか。	A	・定期的な生活アンケートを行い、児童の学習・生活状況を把握し、問題行動等の早期発見、早期解決の一層の定着を図る。	A	A
	学校は、基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組んでいるか。	B	・登校時の挨拶や声かけを大切にし、「ゆたかな心」の醸成を図る。 ・自他を尊重する態度を育成する活動を計画的に実践する。 ・道徳と他教科、領域との関連を図った道徳教育をさらに推進する。	B	B
	学校は、危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	B	・生活、交通、災害に対する安全について指導と訓練を繰り返し、安全な学校生活が送れるように指導や活動の見直し・内容の改善を図る。	B	A
	児童の心情に寄り添った教育活動の推進	A	・カウンセリングマインドを基調とし、全教職員、S Cで教育相談活動を継続する。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	良好			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行っているか。	A	・日常の授業観察、自己申告面接等で、各教員の取り組み課題を示し、指導力向上につなげる。 ・毎週金曜日、週案簿の提出100%を徹底する。 ・年間育成計画をもとに、全ての教員が若手教員の育成にもっとかかわるシステムを構築する。 ・道徳教育やレインボー活動を通じた「おもいやり」「親切」「自己有用感」「自尊感情」の涵養をさらに図る。 ・学習規律、挨拶、言葉遣いの徹底に努める。 ・委員会活動、係活動、レインボー活動などによる責任感をさらに育成する。 ・計画的な読書活動の推進（年2回読書期間）を継続する。 ・運動量を確保した体育授業やマラソン、縄跳び、外遊びの励行を促し、体力アップを図る。 ・地域美化活動やおもてなし講座等の学習を通して、国際理解を深め、豊かな国際感覚を身に付けさせる。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行っているか。	A	・学校運営連絡協議会委員、地域、保護者による学校関係者評価、教員による自己評価を実施し、改善を重ねる。 ・学校行事実施直後に評価を実施し、次年度の改善に生かす。 ・マネジメントサイクルを生かした実践活動の推進に向け、教員の意識の変容をさらに図る。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整えているか。	B	・定期的な安全点検（毎月1回）、情報の共有を徹底する。 ・毎日の校内巡視による安全点検の習慣化を図る。 ・教材の点検、特別教室の整備を計画的に行う。 ・緊急を要するものから順位を付けて、区へ要望するも	B	A

様式 4

			の、校内で対応するもの等分類し、整備に努める。		
	学校関係者評価委員会の意見等	良好			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会、各種だより、HP等でさらに発信する。 ・HPの積極的更新による情報発信。保護者・地域の学校教育への理解をさらに進める。 ・児童の日常の様子や頑張りをたよりや写真等で紹介する活動を継続する。 ・宿泊行事などの校外学習時の活動の経過や児童の様子等を、HPやメール等を活用し、伝える。 	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校華道、町会合同子ども会行事、交通安全教室、夏休み行事、餅つき大会などへの児童の積極的参加を勧める。 ・教員の地域やPTA、おやじの会行事への参加を積極的に促す。 	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	良好			

2 令和4年度学校評価のまとめ

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善やICT機器の活用により、「分かる授業」「できる授業」の推進が図れた。 ・「アタック」「言問塾」の回数が昨年度よりも増え、計画通りできた。 ・教員や支援員の複数体制で、児童支援に当たることができた。 ・コロナ禍の中、外部人材活用や幼保小中連携事業を工夫してできた。 ・学校公開や土曜授業を計画通り行い、保護者の参観回数が増えた。 ・PTA行事に保護者と一緒になって行うことができた。 ・情報発信に努め、保護者アンケートでは、各項目で高い評価を得た。 ・当初の学校経営方針に沿った教育活動ができた。「学力」「体力」「自尊心」の向上が図れた。 ・学校が一丸となって課題解決や改善に向かう学校風土が醸成されている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の問題行動に対する早期発見・早期解決を図る上で、教員間の共通認識、迅速な共同体制の構築をさらに進める。 ・調べる学習コンクールに向けた取組や読書活動の推進及び取組の改善。 ・教員育成のための校内研修、児童理解のための個人面談等の時間の確保。 ・宿題・自主学習等の家庭学習の見直し。 ・各種たよりやCOCOO配信について、わかりやすさを追求した内容吟味。

以上の通り報告いたします。

墨田区立言問小学校 校長 井上 義郎 公印